第 5 章 資料

1 計画策定の経過

年月日		会議等	協議内容等
平成 30 年	3月13日～ 3月28日	健康づくりに関するアンケート調査の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・市内在住の20歳から79歳までの男女、無作為抽出した900人 ・有効回収数 363人 ・有効回収率 40.3%
	4月27日	第1回庁内会議	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の必要性と市の現状 ・各部署での状況と取組 ・今後のスケジュール
	6月12日	第2回庁内会議	<ul style="list-style-type: none"> ・計画構成案 ・現状と課題 ・施策の体系案 ・今後のスケジュール
	6月25日	第1回策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・今後のスケジュール ・基本的な考え方 ・現状と課題 ・施策の体系案
	8月22日	第1回 市民ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ・講師：鳥取大学医学部 環境予防医学分野 尾崎米厚 教授
	9月14日	第2回 市民ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者 第1回46人 第2回42人
	10月17日	第2回策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・分野別目標と対策 ・計画推進体制
	10月31日	第3回庁内会議	<ul style="list-style-type: none"> ・計画素案
	11月15日	第3回策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・計画素案
	12月3日～ 1月7日	パブリックコメント実施	
平成 31 年	1月24日	第4回策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・最終案

2 境港市健康づくり推進計画策定委員会設置要綱

境港市健康づくり推進計画策定委員会設置要綱

(設置目的)

第1条 境港市健康づくり推進計画（以下「計画」という。）を策定するにあたり、関係者の幅広い参画を得てその内容を審議検討し、より充実したものとなるようにするため、境港市健康づくり推進計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会の所掌事項は、次のとおりとする。

- (1) 計画の策定に関すること。
- (2) その他計画の策定のために必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、市長が委嘱する20名以内の委員で組織する。

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱された日から翌年の3月31日までとする。

(職務)

第5条 委員会に、委員長及び副委員長を各1名置き、委員の互選によりこれらを定める。

- 2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集する。ただし、委員会設置後最初に行われる会議は、市長が招集する。

- 2 委員会は、委員の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。
- 3 会議の議長は、委員長が務める。
- 4 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 5 委員長は、必要に応じて、会議に委員以外の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、福祉保健部健康推進課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成30年5月1日から施行する。

3 境港市健康づくり推進計画策定委員会委員名簿

(順不同・敬称略)

団体名等	氏名
公募委員	池 淵 博
公募委員	野 間 麻衣子
鳥取県西部医師会	細 田 淑 人
鳥取県西部歯科医師会	木 村 清
鳥取県済生会境港総合病院	大 田 麻 紀
鳥取県栄養士会	阿 部 暁 子
鳥取県薬剤師会西部支部	増 谷 美喜子
境港市自治連合会	畑 野 成 至
境港市社会福祉協議会	高 木 敏 行
外江地区民生児童委員協議会	足 立 由美子
境港市教育委員会	徳 永 由 樹
境港市公民館連絡協議会	清 水 厚 志
境港市健康づくり地区推進員会	松 本 光 彦
境港市食生活改善推進員会	本 角 小 波
境スポーツクラブ	山 本 正 司
いのちとこころのプロジェクト作業部会	廣 江 仁
精神障がい者家族会（まつば会）	秋 田 松 夫
境港商工会議所	岡 田 礼 子
（一社）境港水産振興協会	景 愛 子
さかいみなと女性農業者人財バンク	大 原 茂 美

任期：平成30年6月25日～平成31年3月31日

◇鳥取大学医学部環境予防医学分野 尾崎米厚教授には、
市民ワークショップでの講師及び計画の策定にあたり
ご指導いただきました。

◇健康づくり推進計画策定関連課

子育て支援課
長寿社会課
福祉課
教育総務課
生涯学習課
市民課
商工農政課
水産課
健康推進課

4 用語解説（50音順）

用語	意味
WYSH 教育 (ウイッシュ)	「かけがえのないあなたへ」というテーマで、将来全ての若者が自分の長所を伸ばし、幸せに生活することをめざした学習。
ALT (イ・イル・ティ)	主に肝臓に含まれ、肝臓や胆道（胆汁の通り道）に障害が起こると数値が高くなる。
HDL(エイチ・ディー・エル) コレステロール	血液中の余分なコレステロールを肝臓に運ぶ役割をする。善玉コレステロールと呼ばれるもの。
エジンバラ産後 うつ病質問票	産後のうつ病のスクリーニング票。10個の質問からなり、母親の抱えるさまざまな問題を明らかにすることができる。
拡張期血圧	心臓が拡張し、血管に戻ってくる準備をしているときに血管にかかる圧力のこと。
がん検診 推進パートナー企業	鳥取県の認定を受けて、職員に積極的にがん検診を勧めている企業のこと。
ゲートキーパー	悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人のこと。
健康寿命	日常的に介護を必要としないで、自立した生活ができる生存期間のこと。
口腔機能	咀嚼（かみ砕く）、嚥下（飲み込む）、発音、唾液の分泌に関わり、食べる、話す役割となるもの。
合計特殊出生率	15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性がその年齢別出生率で一生涯の間に産むとしたときの子ども数に相当する。
自己肯定感	自分のあり方を積極的に評価できる感情。自らの価値や存在意識を肯定できる感情のこと。
自己役立感	他人の役に立つことを喜びとする感情のこと。

用語	意味
周産期	出産前後の期間のこと。妊娠22週から生後7日未満。
収縮期血圧	全身に血圧を行き渡らせようと心臓が収縮するときに血管にかかる圧力のこと。
受動喫煙	室内又はこれに準ずる環境で、他人のたばこの煙を吸わされること。
食事 バランスガイド	「食生活指針」で示された望ましい食事の組み合わせを「コマ」のイラストでわかりやすく示し、「何を」「どれだけ」食べればよいのか、具体的な内容や分量が、主食、副菜、主菜、牛乳・乳製品、果物といった5つの区分に分類されている。
自立支援医療	通院による精神医療を続ける必要がある人の通院医療費の自己負担を軽減するための公費負担医療制度のこと。
多量飲酒	1日平均で日本酒3合以上またはビール中ビン3本以上または焼酎25度原液330ml以上などのアルコールを摂取すること。
T得点 (T-I)	全国平均を50とした偏差値のこと。
低出生体重児	出生時に体重が2,500g未満の新生児のこと。
特定健診	公的医療保険者が40～74歳までの被保険者全員を対象に健康診査を実施すること。
特定保健指導	公的医療保険者が特定健康診査の結果から、生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が期待できる人に、生活習慣を見直すサポートをすること。
ノーメディア チャレンジ	子どものメディアとの接し方や家庭での使い方などを、保護者と子どもが一緒になって考える機会のこと。
BMI (BMI)	身長・体重から肥満・やせ具合を判定するもの。
標準化死亡比	全国の平均を100として、標準化死亡比が100以上の場合は、国の平均より死亡率が高いと判断するもの。
標準化罹患比	全国の平均を100として、標準化罹患比が100以上の場合は、国の平均より罹患率が高いと判断するもの。

用語	意味
フィッシュキッチン	子どもだけで全ての調理作業を進めることにより、その体験から五感（視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚）を刺激し、さまざまな発見につなげる境港市版幼児の体験型食育事業。地元食材の「魚」に触れることで、地域への愛着を芽生えさせることも目的としている。
フッ化物洗口	むし歯予防のために、低濃度のフッ化ナトリウム溶液を用いて行う洗口（ぶくぶくうがい）のこと。
フッ素塗布	むし歯予防のため、フッ化物を歯に直接塗る方法のこと。
フレイル	高齢者が筋力や活動が低下している状態（虚弱）のこと。
平均寿命	0歳の子どもの平均余命のこと。
HbA1c (ヘモグロビン・エーワン)	血液中のブドウ糖と血球に含まれるヘモグロビンが結合したもの。血糖値が高いほど量が多くなり、過去1～2カ月間の血糖値の平均的な高さを示す。数値が高いほど糖尿病の疑いが高い。
メタボリック シンドローム	内臓脂肪型肥満（内臓脂肪・腹部肥満）に高血糖・高血圧・脂質異常症のうち2つ以上の症状が一度に出ている状態のこと。

5 境港市の健康づくりの主要な事業一覧

(1) 食生活・栄養

事業名	事業内容	対象年齢層			担当課 実施機関
		0-19歳	20-64歳	65歳以上	
漁港見学ツアー	お魚ガイドによる境漁港見学ツアーを通じて、漁港や魚、魚食などの魅力をPRする (境港水産振興協会が実施)	○	○	○	水産課
親子ふれあい農園事業	野菜の栽培を通して、親子のふれあい、絆を深めること、また食について考える機会を提供する。さつまいも、トマト、キュウリといった野菜の植付から収穫までの農業体験を行う。市内の女性農業者団体が講師として栽培を支援	○	○	○	商工農政課
0歳さん集まれ (子育て支援センター 事業に参加)	生活リズムや食育についての情報提供を行う	○			子育て支援課
食育学習会	子どもの健全な発育・発達のための食生活とその大切さに関する講話を行う	○			子育て支援課 健康推進課
親子クッキング	親子でクッキングする機会を設けることで、食への興味や関心、食を大切にする気持ちを育み、より良い親子関係を導く	○			子育て支援課
食育集会 (銀ざけ、マグロ、カ ニ、とうふ、野菜)	地元の食材(銀ざけ、マグロ、ベニズワイガニ)を題材とした集会や地元農業者「港ベジターズ」からの野菜の受取り等の交流、「とうふ作り」を実施。 子どもの食への興味や関心、食を大切にする気持ち、感謝の気持ちを養い、日本の伝統的な食文化に触れること、さらには郷土に対する自信と誇りを育む	○			子育て支援課
フィッシュキッチン	子どもだけで魚を使用した一汁二菜の料理を調理することで「達成感」や「満足感」を味わい、「健やかな心と体」「生きる力」を育む。さらには、地元の食材「魚」に触れることで地域への愛着を芽生えさせる	○			子育て支援課 水産課
食物アレルギーをもつ 子どもの保護者交流会	食物アレルギーをもつ子どもの保護者同士が集まり、情報交換や参加者同士の交流を行うことで、子育てに対する孤立感や不安の軽減を図る	○	○	○	子育て支援課
食育フェスタ	食への関心を高め、食生活について振り返る機会とするとともに、保育園、幼稚園、小学校、地域での食育の取り組みについて紹介し、地域に根ざした食育の推進を図る	○	○	○	子育て支援課

事業名	事業内容	対象年齢層			担当課 実施機関
		0-19歳	20-64歳	65歳以上	
栄養教諭・学校栄養職員の食に関する指導	地域の特性をいかした給食の提供と、児童・生徒の健全な食生活の定着を図るため、栄養教諭・学校栄養職員が各学校を訪問し、食に関する指導を行う	○			教育総務課
小学校・中学校就学援助費	小学校、中学校に通う児童・生徒に対し、文具や教材費を援助する他、給食費を減免する。	○			教育総務課
学校給食事業	市内小・中学校10校の児童生徒を対象に安心、安全な学校給食を提供する	○			教育総務課
食育推進事業 (学校給食センター)	食育推進、地産地消の一環として、市内水田で栽培する学校給食用海藻米の田植え、稲刈り体験と参加者による調理、試食を行う	○	○	○	教育総務課
学校給食米栽培委託事業	耕作水田の周辺環境を維持するとともに、収穫した米を学校給食米飯用に提供し、地産地消と食育を推進する また、給食センターと連携し、田植え、稲刈り体験会を開催する。	○	○	○	商工農政課
公民館講座	公民館が主催して行う各種講座	○	○	○	生涯学習課
口腔機能向上・栄養改善事業	<ul style="list-style-type: none"> ●歯科健診、口腔機能健診、歯科医師のミニ講話（後期高齢者広域連合の事業）及び保健師による口腔機能向上にむけたミニ講話を行う ●管理栄養師により低栄養予防の講話と調理実習を行う ●専門職による講演会や虚弱（フレイル）チェックを受けることで、口腔機能の重要性を含め、健康長寿のための実践と意識の向上を行う 			○	長寿社会課
食生活改善推進事業	食生活改善推進員の養成や、食生活改善推進員の活動支援を行い、食を通じた健康づくり活動を地域に広める	○	○	○	健康推進課
乳幼児健診(6か月、1歳6か月、3歳)	生活リズムや食育についての情報提供を行う	○			健康推進課
乳幼児健康相談	乳幼児健診時に生活リズムや食育についての情報提供を行う	○			健康推進課

(2) 運動・身体活動

事業名	事業内容	対象年齢層			担当課 実施機関
		0-19歳	20-64歳	65歳以上	
生涯スポーツの普及	境港市スポーツ推進員が、各地区でニュースポーツの普及活動を行う	○	○	○	生涯学習課
公民館講座	公民館が主催して行う各種講座	○	○	○	生涯学習課
介護予防筋力向上トレーニング事業	身体機能を向上させ、転倒骨折予防、要介護状態になることの予防と悪化防止を行い運動習慣をつけるきっかけとする			○	長寿社会課
運動器機能向上事業	「いきいき百歳体操」の自主グループが継続実施できるための後方支援(フォロー教室の開催等)を行う			○	長寿社会課
きたろう体操普及員活動支援	「きたろう体操普及員」の活動に対する調整や活動の場づくり	○	○	○	健康推進課

(3) ころ・休養

事業名	事業内容	対象年齢層			担当課 実施機関
		0-19歳	20-64歳	65歳以上	
スクールカウンセラー派遣	市内5人のスクールカウンセラーを配置し、全小中学校を巡回し、児童・生徒・保護者の相談を受ける	○	○	○	教育総務課
小学校・中学校よりよい学級づくり事業	QUTEST（子どもが楽しい学校生活を送るためのアンケート式心理テスト）を実施し、学級満足度尺度等、学校診断アセスメントとして利用可能なデータを収集する	○			教育総務課
適応指導教室「やすらぎルーム」運営事業	不登校児童・生徒の情緒安定、基本的な生活習慣の改善等のため、相談・適応指導等を行い、児童生徒の自立を支援する	○			教育総務課
スクールソーシャルワーカー活用事業	いじめ、不登校、児童虐待など児童生徒の様々な状況に対する支援体制構築のため、学校と関係機関をつなぐスクールソーシャルワーカーを配置する	○			教育総務課
いのちとこころのプロジェクト事業こころの応援団をひろげる会	若年層を支える関係者(教員、幼稚園や保育園職員、民生委員、保護者など)の人材育成として、子どもはつまずいても自分で立ち直れたり、安心して住めるまちになるためにどんな取り組みが必要かを考えたり、学習する場として会を開催する		○	○	健康推進課
いのちとこころのプロジェクト事業「こころとからだの健康アンケート」	思春期をターゲットとした、こころとからだの健康に関する評価と、その結果をもとにした啓発(アンケート:小学6年生、結果返しと啓発:中学1年生とその保護者)	○	○		健康推進課
いのちとこころのプロジェクト事業こころの出前講座	団体に対し、こころの健康づくりの講演やPRを行う		○	○	健康推進課
いのちとこころのプロジェクト事業命の学習会	命の尊さを学ぶ、助産師による授業	○			健康推進課
こころの体温計	携帯電話やパソコン等を使用し、いつでも気軽に自分のこころの状態をチェックするシステム	○	○	○	健康推進課
心のヘルスケア事業(カウンセリング)	何らかの悩みを持っている人や家族に対して、臨床心理士が相談に応じる	○	○	○	健康推進課
精神障害者家族会(まつば会)の活動支援	家族会活動の市民への啓発や活動への助言、調整を行う	○	○	○	健康推進課

事業名	事業内容	対象年齢層			担当課 実施機関
		0-19歳	20-64歳	65歳以上	
精神保健福祉ボランティア団体(あい愛)の活動支援	精神障がい者へのボランティア活動への助言、調整を行う	○	○	○	健康推進課
精神障がい者当事者会	こころの病気で治療されている人が集まり、気軽にお喋りしたり、仲間づくりを行う	○	○	○	健康推進課

(4) 喫煙・飲酒

事業名	事業内容	対象年齢層			担当課 実施機関
		0-19歳	20-64歳	65歳以上	
健康教育（喫煙、飲酒、薬物乱用防止について）	保健体育の授業で、喫煙や飲酒、薬物乱用防止に関する健康教育を行う	○			教育総務課

(5) 歯・口腔

事業名	事業内容	対象年齢層			担当課 実施機関
		0-19歳	20-64歳	65歳以上	
小学校・中学校 保健衛生費	就学時健康診断、児童生徒、教職員健康診断等を行う	○	○		教育総務課
学校歯科検診	年1回の健診を行い、健康状態の把握を行い、早期治療へつなげる	○			教育総務課
歯科健康診査	口腔機能の低下予防や誤嚥性肺炎等の疾病予防のための歯科口腔診査を行う			○	市民課
公民館講座	公民館が主催して行う各種講座	○	○	○	生涯学習課
口腔機能向上・栄養改善事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 歯科健診、口腔機能健診、歯科医師のミニ講話（後期高齢者広域連合の事業）及び保健師による口腔機能向上にむけたミニ講話を行う ● 管理栄養師により低栄養予防の講話と調理実習を行う ● 専門職による講演会やフレイルチェックを受けることで、口腔機能の重要性を含め、健康長寿のための実践と意識の向上を行う 			○	長寿社会課
歯科検診 フッ素塗布事業	幼児期においてフッ素塗布によるむし歯予防を行うことでかかりつけ医と連携して定期的なむし歯予防対策の一つとして取り組むきっかけとする	○			健康推進課
親子歯みがき教室	親子で楽しく正しい歯みがき方法を学ぶ教室を行う	○			健康推進課

事業名	事業内容	対象年齢層			担当課 実施機関
		0-19歳	20-64歳	65歳以上	
フッ化物洗口	むし歯予防対策の一つとしてフッ化物洗口を希望する園で実施。むし歯になりやすい6歳臼歯が生え始める年中児、年長児に実施する	○			健康推進課
1歳6か月児健診 3歳児健診	幼児健診に合わせて歯科検診、フッ素塗布、歯科保健指導を行うことでむし歯の早期発見、早期治療につなげるとともに、むし歯予防につなげる	○			健康推進課
6か月児健診	6か月健診に合わせ、乳歯が萌出し始めたばかりの時にむし歯予防のための歯科保健指導を行う	○			健康推進課
乳幼児相談	乳幼児相談時に希望者に対し歯科保健指導を行いむし歯予防に努める	○			健康推進課

(6) 生きがい・社会参加

事業名	事業内容	対象年齢層			担当課 実施機関
		0-19歳	20-64歳	65歳以上	
障がい児(者)のためのスポーツ教室開催補助金	障がい児(者)を対象としたトランポリン教室・水泳教室の運営経費の補助を行う	○	○	○	福祉課
公民館講座	公民館が主催して行う各種講座	○	○	○	生涯学習課
元気シニア増やそう(フレイル予防)事業	フレイルに関する講演会の開催や、「フレイルサポーター養成研修」を行い、養成されたサポーターがフレイルチェックを行う。住民がチェックを受けることで、自分の健康づくり、介護予防の効果を経年的に確認できる			○	長寿社会課
市民活動の促進	市民活動を通して、市民がやりがいや、人と人との繋がりを持てるよう広報や補助を行い、活動の活性化を図る	○	○	○	地域振興課
市民活動センター運営事業	市民活動の拠点である市民活動センターを運営する	○	○	○	地域振興課
市民総合ボランティアセンター運営事業	ボランティア活動の拠点として、コーディネーターを配置するほか、運営経費を助成する	○	○	○	地域振興課
市民活動推進補助金	市民活動の活性化を図るため、市民が行う自発的な活動を助成する	○	○	○	地域振興課
人権ふれあいフェスティバル事業	諸団体・PTAと協働し、広く公募した実行委員により、企画・運営し、毎年開催している。「絆がはぐくむ人権のまちづくり」をテーマに多くの市民の社会交流の場となっている	○	○	○	地域振興課
市営住宅建替事業(H30~36、誠道地区) ※H30は実施設計	入居者の高齢化対策として、市営住宅の建替えにおいて、集会所を中心に入居高齢者等が地域で交流できる施設として計画・整備する			○	建築営繕課

(7) 疾病の発症・重症化予防

事業名	事業内容	対象年齢層			担当課 実施機関
		0-19歳	20-64歳	65歳以上	
学校内科健診	年1回の健診を行い、健康状態の把握を行い、早期治療へつなげる	○			教育総務課
学校保健会研修会	教職員が、児童・生徒の健康に関心を持ち、正しい知識と健康づくりについて指導できるように研修を行う		○		教育総務課
小学校・中学校 就学援助費	小学校、中学校に通う児童・生徒に文具や教材、給食の費用を援助する他特定の疾病について医療費の実費を支給する。	○			教育総務課
小学校・中学校 保健衛生費	就学時健康診断、児童生徒、教職員健康診断等を行う	○	○		教育総務課
(国保) 重複・頻回受診者 訪問指導	適正受診の推進のための訪問指導を行う	○	○	○	市民課
(国保) 人間ドック	特定健康診査に付加価値を持たせ、また受診しやすくするために、特定健康診査、胃・大腸・肺がん検診、その他詳細な検査を同時実施する		○	○	市民課
(国保) 糖尿病性腎症重症 化予防事業	糖尿病性腎症を重症化させる可能性の高い人に、受診勧奨や保健指導を行う		○	○	市民課
公民館講座	公民館が主催して行う各種講座	○	○	○	生涯学習課
認知症予防事業	●認知症サークル活動支援として、各サークルに1回認知症についての学習会を行う。その他必要に応じ行う ●認知症サークル対象の学習交流会を行う。			○	長寿社会課
認知症予防事業	住民向けの講演会として、認知症予防講演会を行う			○	長寿社会課
認知症予防事業	小学生に向けた認知症サポーター養成講座をサークルと小学生との交流会の中で実施する(高齢者疑似体験も合わせて実施)	○		○	長寿社会課
認知症予防事業	認知症サポーター養成講座を一般市民に対し行う。その他、希望する団体へ実施する。			○	長寿社会課

事業名	事業内容	対象年齢層			担当課 実施機関
		0-19歳	20-64歳	65歳以上	
認知症初期集中支援推進事業	●認知症地域支援推進員が、住民の介護予防の場に出かけ、認知症に関する相談を受ける。その他随時相談を受ける ●認知症初期集中支援チーム員会議を開催する ●認知症カフェと家族のつどいを同時開催する			○	長寿社会課
事業所研修会	講演会などの研修会を実施する。住民向けの研修会を事業所研修会とする			○	長寿社会課
ヤング講座	ヤング健診の受診者を中心に、健康づくりに関する講演等により、若い頃から健康に興味・関心をもってもらう	○	○	○	健康推進課
ヤング健診	生活習慣病の早期発見、重症化予防のための健康診査を行う		○		健康推進課
健康教育	健診受診の必要性や介護予防、健康づくりに関する講話や学習会を実施する	○	○	○	長寿社会課 健康推進課
健康相談	健康に関する相談に応じ、健康の保持増進を図る	○	○	○	健康推進課
健康づくりミニ講演会&情報交換会	境港医師協会とともに、健康に関する講演会を行い、健（検）診の受診勧奨や健康づくりの普及啓発を行う	○	○	○	健康推進課
がん検診等受診率向上対策	各種健（検）診の受診勧奨を、電話・文書・はがき・訪問や各種事業時の声かけにより実施する		○	○	健康推進課
健康まつり	健康に関する講演や関係団体による相談・測定コーナー・手作り食堂等を行い、健康づくりの普及啓発を行う。	○	○	○	健康推進課
（国保） 特定健診	メタボリックシンドロームの発症リスクが高い対象者を早期に発見し、生活習慣の改善により重症化の抑制を図ることを目的とした健康診査を行う。		○	○	市民課 健康推進課
（後期高齢者医療 保険） 長寿健診	生活習慣病の早期発見、重症化予防のための健康診査を行う			○	健康推進課
（医療保険加入者 以外） 一般健診	生活習慣病の早期発見、重症化予防のための健康診査を行う		○	○	健康推進課

事業名	事業内容	対象年齢層			担当課 実施機関
		0-19歳	20-64歳	65歳以上	
がん検診	がんの早期発見、早期治療のための健康診査を行う		○	○	健康推進課
(国保) 特定保健指導	生活習慣病の重症化予防のための保健指導を行う		○	○	市民課 健康推進課
(国保) 健診結果相談会 & 説明会	健診結果をもとに、生活習慣病の早期発見、重症化予防のための説明・相談を行う		○	○	健康推進課